

M-1アマチュアルール

【参加資格】

感染症等無い健康な男・女(未成年者は保護者の承諾を要す)

:一般の部は高校生以上:ジュニアの部は中学生以下

【試合時間】

2分2ラウンド(インターバル30秒) ※ジュニアタイトルマッチのみ3ラウンド

【防具】

(主催者側で用意するもの) グローブ・ヘッドギア・レッグプロテクター(大人)

※グローブは大人16オンス、子供12オンスを使用

※特別な事情がない限り、私物は不可

(各自で用意するもの)

トランクス・マウスピース・バンテージ・膝サポーター・布製脛サポーター(子供)

男子:ファールカップ※大人及び出場階級45kg以上の者は鉄製のものを使用すること。

女子:アブスメントガードを必ず装着すること。

【服装】

ムエタイトランクス、もしくは試合に差し支えないハーフパンツを着用する。

上半身の着衣は可。ただし、試合に差し支えない程度のもとする。

シューズの着用は不可。

金属などの固いものを身につけてはならない。

【計量】

定められたリミット体重までを可とする。※計量は試合開始30分前までにパスすること。

【勝敗】

(判定) 試合終了後、ジャッジの集計によって決定する。

(KO) 10カウント以内に立ち上がれない場合。

(TKO) ①試合が明らかに一方的な場合。

②インターバル終了後、一方の選手が試合に臨めない場合。

③一方の選手が著しく負傷して続行不可能な場合。

④1ラウンド中に2回ダウンがあった場合。

⑤一方の選手に試合続行の意思がない場合。

(失格)

- ①集合時間に間に合わなかった場合。
- ②時間内に計量をパスできなかった場合。
- ③反則行為により、注意、警告を受けた後、さらに反則を犯した場合。
- ④悪質な反則により、レフェリーが即時失格と判断した場合。

(ドロウ)

- ①判定において2名以上の支持が得られなかった場合。
- ②両選手が同時にダウンし、双方とも10カウント以内に立ち上がれなかった場合。
- ③両選手がリング外に出た時、双方とも20カウント以内に戻れなかった場合。

(ノーコンテスト) 1ラウンド内のアクシデントにより試合続行不可能となった場合。

(負傷判定)

2ラウンド以降のアクシデントにより試合続行不可能となった場合、そのラウンドを含むそれまでの採点で判定結果を集計し、勝敗を決する。

【ジャッジ】

3名がそれぞれ1試合を通してジャッジを下す。

2名以上のジャッジが支持した者を勝者とする。

(ジャッジのポイント)

有効打 : クリーン・エフェクティブ・ヒット

攻撃・積極性: アグレッシブシップ

防御 : ディフェンス

主導権 : リング・ゼネラルシップ

以上4点を総合的に判断する。

【ダウンの定義】

- ①足の裏がリングに付かず倒れている状態、またはグローブがリングに付いた状態。
- ②立ち上がりはしたものの、寄りかかからないと立ってられない状態。
- ③連続で攻撃され、立ってはいるがディフェンス出来ない状態。
- ④ダウンを取った場合、速やかにニュートラルコーナーで待機すること。ニュートラルコーナーに着いた時点からコールを開始し、従わない場合はコールされない。
- ⑤両選手が同時にダウンし、10カウント以内に一方のみが立ち上がった場合、その選手が勝者となる。
- ⑥両選手が同時にダウンし、折り重なった状態の場合、レフェリーが双方を離してからダウンコールをとる。
- ⑦選手がラウンド間際にダウンした場合、全ラウンドともゴングに救われることはなく、レフェリーカウントが終了後、ゴングを鳴らす。

【反則行為】

- ①相手に唾を吐く行為
- ②下を出しての挑発行為
- ③かみつき
- ④サミング
- ⑤頭突き
- ⑥投げ技
- ⑦関節技
- ⑧さばおり
- ⑨転倒した相手への攻撃
- ⑩ロープを掴む行為
- ⑪下腹部を狙った攻撃
- ⑫相手の脚を取った状態で3歩以上の移動
- ⑬相手の攻撃を避けるため自ら転倒する行為
- ⑭遅延行為
- ⑮武器の使用
- ⑯暴言や悪態
- ⑰レフェリーの指示に従わないこと
- ⑱肘打ち
- ⑲顔面への膝蹴り

※その他の項目は試合が行われる大会の主催者が決定する。

※M-1事務局の許可を取った場合に限り、試合が行われる試合会場の条件等により、ルールを変更することも可とする。

2010年9月1日M-1事務局制定

2012年1月4日一部改訂

上記の一部は九州大会ルール